

なぜなぜ分析

「抜け・漏れ」や「論理的飛躍」を防ぐ分析手法の演習

大分県自動車関連企業会は大分県LSIクラスター形成推進会議と共催で、ミスやトラブルについての原因追究の適切なやり方と、なぜなぜ分析で的確な再発防止策を導く考え方を学ぶセミナーを開催します。

理詰めで考える手法を身に着けることは、自動車関連産業の関係者として必要不可欠なスキルです。本セミナーは首都圏でも大変人気の講座となっています。

ぜひ、ご自身の能力向上にお役立てください。

<内容>

- ヒューマンエラーを分析する際によくある失敗例
- 「なぜ？」を考える前に、原因追究の勝負は決まる
- ヒューマンエラー防止に向けた、なぜなぜ分析の運用のしかた



<講師>小倉 仁志 氏 (マネジメント・ダイナミクス 社長)

1985年 東京工業大学工学部化学工学科卒業。

同年 デュポン・ジャパン・リミテッド入社。

1992年 社団法人日本プラントメンテナンス協会に転職。国内外の製造業や営業所にTPMの指導に従事。

2005年に独立し、有限会社マネジメント・ダイナミクスを設立し、現在に至る。

日時

12月21日(土) 10:00~17:00

※12月20日13:00~17:00に産業科学技術センター(大分市)で大分県LSIクラスター形成推進会議主催による、同一内容で演習無しの講座を行います。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

場所

大分県立工科短期大学校 本館会議室

(中津市大字東浜 407-27)

申込先

締切日 12月10日(火)

企業会事務局：097-506-3274

■ プログラム詳細

➤ 講義編:なぜなぜ分析を考える時の定石

- ヒューマンエラーを分析する際によくある失敗例
- 「なぜ？」を考える前に、原因追究の勝負は決まる
 - ・ 漏れの無い課題の摘出で、会社として抜けの無い仕組みの構築を目指す
 - ・ 見たまま、かつ的確に事象を表現する
 - ・ 分析対象を正確、かつ詳細に把握・理解する
 - ・ 前提条件を整理し、分析上の除外要件を明確にする
- 「なぜ？」を考える時の定石
 - ・ 論理的に展開するための定石
 - ・ 漏れなく展開するための定石
 - ・ 狙い通りに展開するための定石
 - ・ 展開された「なぜ」を正しく検証する
 - ・ 導き出された対策の展開の仕方
- なぜなぜ分析の進め方
- ヒューマンエラー防止に向けた、なぜなぜ分析の運用のしかた
- なぜなぜ分析事例
- なぜなぜ分析の様々な用途例

➤ 演習(1)個人ワーク:なぜなぜ分析の間違いを見抜けるか

よくあるヒューマンエラーの「なぜなぜ分析」を、自分なりに修正することで、「なぜなぜ分析」の定石を再確認しよう

- 講義で学んだことを基に、分析上の間違いを指摘し、自分なりに修正する
- 回答例と比較し、なぜなぜ分析で陥りやすい間違いや注意点に対する理解を深める

➤ 演習(2)グループワーク:トラブル事例をグループで解き明かそう

品質クレームへの適切な対策を、「なぜなぜ分析」の進め方に沿って導き出してみよう

- グループで事例を分析し、論理的に漏れなく要因を洗い出し、再発防止策を1つ以上導き出す
- グループでの分析作業を通じて、数人で分析するメリットを実感する

➤ 質疑応答

今回の講義・演習内容や、なぜなぜ分析を行う上での疑問点などに講師がお答えします。